



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月9日

上場会社名 森下仁丹株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4524 URL http://www.jintan.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 駒村 純一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 森田 真司 TEL 06-6761-1131
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	7,948	△1.3	446	27.8	454	26.1	272	△0.8
29年3月期第3四半期	8,054	3.7	349	132.0	360	124.8	275	95.5

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 516百万円 (110.3%) 29年3月期第3四半期 245百万円 (△46.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	67.08	—
29年3月期第3四半期	67.64	—

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	14,202	9,647	67.9
29年3月期	14,320	9,284	64.8

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 9,647百万円 29年3月期 9,284百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	7.50	7.50
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	37.50	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は7円50銭となり、1株当たり年間配当金は7円50銭となります。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,000	9.4	500	17.1	500	12.8	400	66.0	98.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	4,150,000株	29年3月期	4,150,000株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	82,345株	29年3月期	82,067株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	4,067,828株	29年3月期3Q	4,068,117株

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び連結業績予想について)

当社は、平成29年6月29日開催の第80期定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。なお、株式併合考慮前に換算した平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

1. 平成30年3月期の配当予想
1株当たり配当金 第2四半期末 0円00銭 期末 7円50銭（注）
2. 平成30年3月期の連結業績予想
1株当たり当期純利益 通期 19円67銭

(注) 株式併合考慮前に換算した配当額です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、着実に回復しております。世界的な製造業サイクルの好転を受けて輸出が増加を続けるなか、国内需要も持ち直しており、回復基調が鮮明になっております。個人消費は、雇用所得環境の改善を背景に持ち直してはいましたが、天候不順や物価上昇による実質所得の伸び悩みを受けて夏場以降持ち直しの動きが一服しております。しかし、原油価格の上昇に伴うガソリンや灯油の大幅上昇を主因とした消費者物価の上昇は伸びを高めており、緩やかな回復基調は続いております。

当社グループの属する業界も、異業種を含む大手企業の新規参入など更なる競争激化は続いており、当社グループを取り巻く環境は依然として厳しいものとなっております。

このような状況のなか、当社グループとしては、「伝統と技術と人材力を価値にする」をビジョンとして、引き続き積極的な営業活動を展開しております。特に当社独自の機能性素材であるローズヒップ及びサラシアの販売については前年同四半期と比べ大幅な増収となりました。一方「ヘルスエイド®シリーズ」及びフレーバーカプセルの受託については前年同四半期と比べ大幅な減収となり、その結果、売上高は7,948百万円と前年同四半期と比べ106百万円の減収となりました。

利益面においては、効率的なプロモーション活動及びコストダウン諸施策による原価率の低減により営業利益は446百万円と前年同四半期と比べ97百万円の増益となり、また営業外損益を加えた経常利益は454百万円と前年同四半期と比べ93百万円の増益となりました。さらに投資有価証券評価損を含む30百万円の特別損失を加えた税金等調整前四半期純利益は423百万円と前年同四半期と比べ63百万円の増益となり、法人税、住民税及び事業税並びに法人税等調整額を加えた親会社株主に帰属する四半期純利益は272百万円と前年同四半期と比べ2百万円の減益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① ヘルスケア事業

当セグメントにおきましては、機能性表示食品「ヘルスエイド®シリーズ」が前年同四半期と比べ減収となりましたが、機能性素材の販売強化により、ヘルスケア事業の売上高は5,990百万円と前年同四半期と比べ283百万円の増収となりました。

損益面では、回転率の悪い商品を評価減するなど在庫の整理をしましたが、効果的なプロモーション活動等により、売上高が好調に推移するなか、セグメント利益は、481百万円と前年同四半期と比べ575百万円の増益となりました。

② カプセル受託事業

当セグメントにおきましては、医薬品カプセルやその他の受託については前年同四半期並に推移しましたが、フレーバーカプセルの受託の落ち込みにより、カプセル受託事業の売上高は1,935百万円と前年同四半期と比べ396百万円の減収となりました。

損益面では、効率的な研究開発投資に努めましたが、セグメント損失は、2百万円と前年同四半期と比べ427百万円の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、14,202百万円と前連結会計年度末と比べ118百万円(0.8%)の減少となりました。総資産の内訳は、流動資産が5,686百万円と前連結会計年度末と比べ289百万円(4.9%)の減少となり、固定資産が8,515百万円と前連結会計年度末と比べ171百万円(2.1%)の増加となりました。流動資産の減少の主な要因は、現金及び預金の減少によるもので、固定資産の主な変動要因は、減価償却の進捗による有形固定資産の減少と、株式の時価評価による投資有価証券の増加等であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、4,555百万円と前連結会計年度末と比べ480百万円(9.5%)の減少となりました。負債の内訳は、流動負債が2,321百万円と前連結会計年度末と比べ560百万円(19.4%)の減少となり、固定負債が2,233百万円と前連結会計年度末と比べ79百万円(3.7%)の増加となりました。これは、主に長期借入金の約定返済の減少によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、9,647百万円と前連結会計年度末と比べ362百万円(3.9%)の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月12日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,877	2,262
受取手形及び売掛金	1,495	1,649
商品及び製品	623	593
仕掛品	369	452
原材料及び貯蔵品	329	509
その他	292	230
貸倒引当金	△11	△11
流動資産合計	5,976	5,686
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,998	1,915
機械装置及び運搬具(純額)	1,357	1,193
土地	2,217	2,217
建設仮勘定	2	89
その他(純額)	236	278
有形固定資産合計	5,813	5,695
無形固定資産		
投資その他の資産	202	169
投資有価証券	2,266	2,589
その他	61	61
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	2,327	2,651
固定資産合計	8,343	8,515
資産合計	14,320	14,202

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	921	1,018
1年内返済予定の長期借入金	692	400
未払法人税等	211	6
賞与引当金	158	83
返品調整引当金	171	75
売上割戻引当金	20	27
ポイント引当金	42	44
設備関係支払手形	31	87
その他	631	579
流動負債合計	2,881	2,321
固定負債		
長期借入金	875	818
繰延税金負債	740	843
退職給付に係る負債	537	571
その他	1	1
固定負債合計	2,154	2,233
負債合計	5,035	4,555
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,537	3,537
資本剰余金	963	963
利益剰余金	4,089	4,209
自己株式	△137	△138
株主資本合計	8,452	8,572
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	829	1,070
退職給付に係る調整累計額	2	4
その他の包括利益累計額合計	832	1,075
純資産合計	9,284	9,647
負債純資産合計	14,320	14,202

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	8,054	7,948
売上原価	3,874	3,693
売上総利益	4,180	4,254
販売費及び一般管理費	3,831	3,808
営業利益	349	446
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	22	17
その他	11	2
営業外収益合計	34	19
営業外費用		
支払利息	9	9
保険解約損	10	—
その他	4	3
営業外費用合計	23	12
経常利益	360	454
特別損失		
投資有価証券評価損	—	29
その他	—	0
特別損失合計	—	30
税金等調整前四半期純利益	360	423
法人税、住民税及び事業税	91	48
法人税等調整額	△6	101
法人税等合計	85	150
四半期純利益	275	272
親会社株主に帰属する四半期純利益	275	272

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	275	272
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△29	240
退職給付に係る調整額	△0	2
その他の包括利益合計	△29	243
四半期包括利益	245	516
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	245	516

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ヘルスケア 事業	カプセル 受託事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,707	2,331	8,039	15	8,054	—	8,054
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	209	209	△209	—
計	5,707	2,331	8,039	224	8,264	△209	8,054
セグメント利益又は損 失(△)	△93	425	331	17	349	—	349

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおります。

- II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ヘルスケア 事業	カプセル 受託事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,990	1,935	7,926	22	7,948	—	7,948
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	204	204	△204	—
計	5,990	1,935	7,926	226	8,153	△204	7,948
セグメント利益又は損 失(△)	481	△2	479	△32	446	—	446

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおります。